

無数鍵多重時変成立点理論セキュリティ

1. これは何か？無数鍵多重時変成立点理論セキュリティ

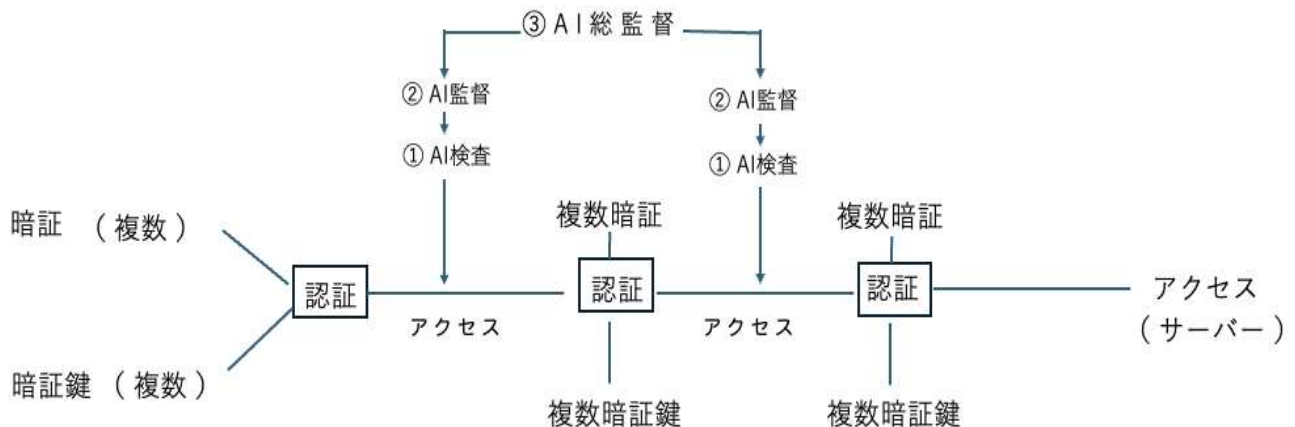
無数鍵多重時変成立点理論セキュリティとは、「ログインできた人を信用する」のではなく、「今、本当に本人として成立しているか」を確認し続ける認証・防御基盤です。固定 ID、固定パスワード、固定鍵に頼らず、複数登録された本人用認証から毎回使う要素を決めます。認証が通った後は、その認証情報を使い切り・無効化します。さらに、AI 検査・AI 監督・AI 総監督により、ログイン後も本人性、端末、通信、操作を確認します。

徒来セキュリティ

理論全体図



無数鍵多重時変成立点セキュリティ



説明 YouTube 動画: <https://youtu.be/GXGylecwEVw?si=yZDmPMpFoDeojOMt>

Google 検索 URL: <https://share.google/aimode/nbQNPaHCYoVohQoUr>

ニュース一覧 URL: <https://share.google/VmJwPTaGK10wvmcJw>

2. なぜ企業に必要か

企業被害は、入口突破だけではありません。フィッシング、マルウェア、ランサムウェア、AI 攻撃、USB・SD 等の外部媒体攻撃は、ログイン後・接続後・業務操作中に被害を出します。つまり、企業には、入口だけ守る仕組みではなく、業務中も本人か、端末は安全か、操作は自然かを確認する仕組みが必要です。

情報流出は、未来のフィッシング攻撃の弾薬供給

日本では年間3,000万人規模の情報流出 → フィッシング詐欺攻撃が急増！

2025年 上場企業公表ベース
約3,063万人分
の情報が漏えい
日本人口の約4人に1人規模！

情報流出の本当の危険は、
“次の攻撃の武器になる”
ことです。



現代型サイバー犯罪の流れ

- 1 サーバー攻撃
企業・委託先を侵害
- 2 顧客情報流出
大量の個人情報流出
・氏名
・メールアドレス
・電話番号
・契約先
・購入履歴
・一部認証情報
など
- 3 犯罪市場流通
ダークウェブ等で売買
- 4 AIによる
自動フィッシング生成
・本物風メール
・SMS
・電話
・偽サイト
- 5 本人が信じる
本物情報一致で
信頼してしまう
- 6 認証突破
ID・PW・SMS等を
入力してしまう
- 7 不正送金・乗っ取り
口座乗っ取り・不正送金
証券・通販なども被害

特に危険なのは「本物情報一致」！

一般的な詐欺メール
〇〇銀行を
ご利用のお客へ
...
あやしいと
気づきやすい

情報流出後の精密フィッシング
竹内様
〇〇証券の5/7
ログイン確認のお願い
...
信じてしまいやすい！

年間3,000万人規模の意味

メール
携帯電話
契約先
まで漏れていると...
全国規模で
超高精度ターゲティングが可能に！



AI時代でさらに危険化

AI
自然文章
本物口調
本物風電話
偽チャット
偽本人応答

「流出情報 × AI」で、フィッシング攻撃が極端に強化！

現在の本質

現代のフィッシングは、
“騙す技術” < “本物情報を
どれだけ持っているか”
が重要になっている！

無数鍵多重時変成立点理論セキュリティ（強化の方向性）

- 1 鍵固定を減らす（無数鍵・時変）
鍵が毎回変化。時間・状態・条件で
動的に変わるため、盗んでも使えない。
- 2 時変成立（短命化）
成立しても数秒～数十秒で消滅。
使い回し・再利用を不可能にする。
- 3 継続成立が必要
端末・行動・通信・時間などを常時監視。
途中で違えば即失効。
- 4 多重成立点（多層構造）
L1～L5の多層構造で、1つ突破しても
最終到達できない。
- 5 副作用チェック（AI監視）
操作・通信・挙動の違和感をAIが検知。
不正を早期にブロック。
- 6 成立後消滅（セッション消滅）
成立後は即消滅。長時間のセッション
乗っ取りを防止。

「情報を知っていても成立しない」仕組みへ

情報流出 → 従来認証 → 突破されやすい
時変成立点型
突破・継続が困難

世界が進めている方向

Passkey FIDO2 行動認証 継続認証
短命トークン AI異常検知 ゼロトラスト

重要な本質
情報流出は、単なる漏えい事件ではない。
実際は「未来のフィッシング攻撃の弾薬供給」になっている。

だからこそ
“成立し続けることを不可能化するセキュリティ”が
これからの時代の必須防御です。

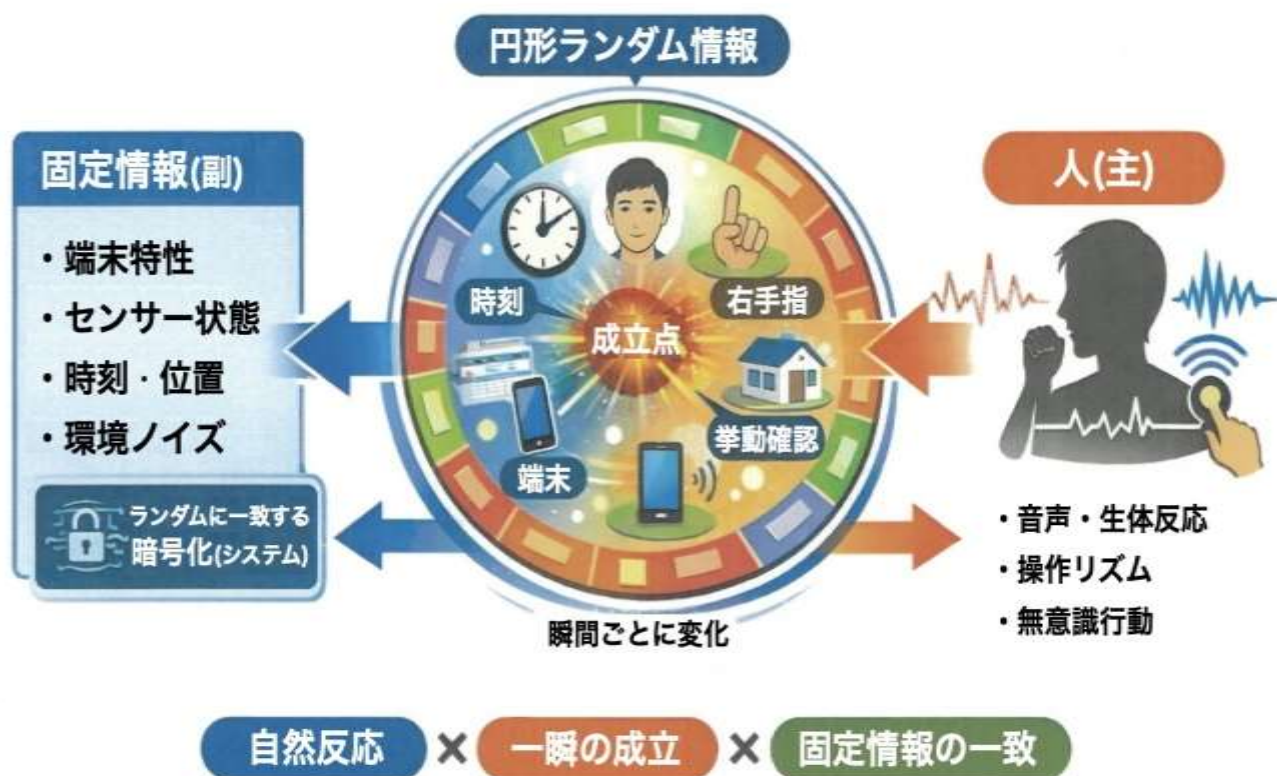
Google 検索 URL: <https://share.google/aimode/API1ek1z6qBkGrp5M>

※サイバーセキュリティ・情報漏洩ニュース Google 検索 URL: <https://share.google/xnP7LI0H2CC2tAVqi>

3. 今までに難しかった理由

従来は便利さを優先し、固定 ID、固定パスワード、固定鍵、一定時間有効なセッションを使う設計が中心でした。これは使いやすい反面、攻撃者にとっては、盗む情報・再利用する情報が固定されやすい構造です。本理論は、固定点を減らし、毎回変え、通過後に無効化し、ログイン後も本人性を確認する点が異なります。

無数鍵多重時変成立点理論



説明 YouTube 動画: <https://youtu.be/QduPes00IT0?si=4bTSY1MeGjoGaEAf>

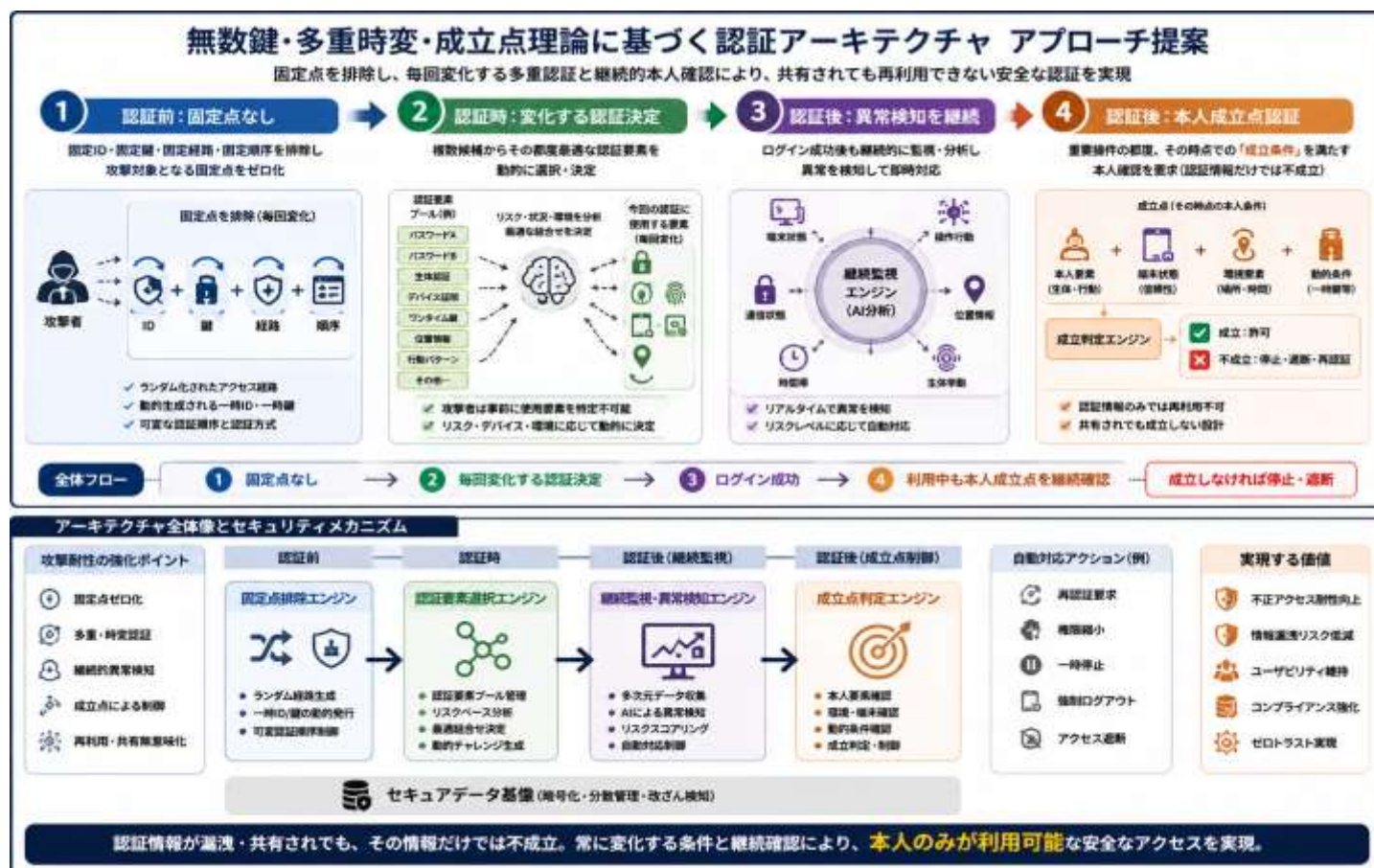
Google 検索 URL: <https://share.google/aimode/uwgRpyP6dp267UULP>

難しかった理由 Google 検索 URL: <https://share.google/aimode/1nBHFhyEL8YdKoyfM>

4. ゼロトラスト・最先端セキュリティとの違い

項目	ゼロトラスト等	本理論
考え方	侵害が起こり得る前提で検知・制御	不正利用を成立させにくくする
認証	多要素認証・継続認証	複数候補から毎回決定
認証情報	一定時間使う場合がある	通過後に使い切り・無効化
監視	製品ごとに異なる	AI3 段階監視
目的	被害拡大防止	被害成立前の遮断と本人性証跡化

一言で言うと、ゼロトラストや EDR/XDR 等は、侵害や異常を見つけて制御する仕組みです。
本理論は、認証情報を盗まれても再利用させにくくし、不正な業務操作を成立させにくくする仕組みです。



Google 検索 URL: <https://share.google/aimode/hOPs3zfnbg4x4lkUe>

5. 企業にどう効くか

本人なら自然に業務ができます。一方で、盗まれた ID、フィッシング情報、マルウェア、ランサムウェア、AI 攻撃、不正 USB・SD 利用では、本人性・端末状態・操作状態が一致しにくくなります。異常時は、再認証、停止、権限縮小、遮断、証跡記録につなげます。

Google 検索 URL: <https://share.google/aimode/fpnOyh1PLI5MI3Xfb>

6. メリット・デメリット・やる価値

対象	メリット	課題	やる価値
企業	ランサムウェア、不正アクセス、内部不正、USB・SD 不正利用対策	導入費、既存システム連携、社員教育	事業停止・信用低下・復旧費用を防ぐ
国	重要インフラ防御、日本発技術育成	実証費・制度整理	産業全体の安全性向上
国民	詐欺・なりすまし被害低減	操作慣れ・再認証負担	安心してデジタル利用できる
海外	標準化・ライセンス展開	各国規制対応	日本発技術の国際展開

世界最強セキュリティ Google 検索 URL: <https://share.google/aimode/bxAq0XBR5hHw7NM5D>

Google 検索 URL: <https://share.google/aimode/KXHQBduHBqsgarAj4>

7. 企業がやるべき価値

企業にとって最大の価値は、被害後の復旧ではなく、被害を成立させにくくすることです。ランサムウェア被害では、復旧費、停止損失、信用低下、取引停止が発生します。そのため、攻撃が起きた後に対応するだけではなく、業務操作の途中で止める仕組みが重要です。



Google 検索 URL: <https://share.google/aimode/API1ek1z6qBkGrp5M>

8. Kトラストの立場

Kトラストは、知的財産権、システム開発ノウハウ、設計資料、技術参考書を通じて、企業や開発会社が本理論を理解し、実装し、商品化・導入できるよう支援する立場です。

URL:<https://share.google/PJHhyQvUn6tqVvl68>

9. 一言で説明

従来は「ログインできたら業務を許可する」。本理論は「本人として成立している時だけ業務を進める」。

だから、盗まれたID、ウイルス、AI 攻撃、ランサムウェアでも、業務操作の途中で止めやすい認証基盤を目指します。

人類最強セキュリティー理論 Google 検索 URL:

https://www.google.com/search?q=%E4%BA%BA%E9%A1%9E%E6%9C%80%E5%BC%B7%E3%82%BB%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E7%90%86%E8%AB%96&source=sh%2Fx%2Fgs%2Fm2%2F5&udm=50&fbs=ABfTbFVeQyQO3LZG4fzVTKHa6fDl9lOte3ZLyCpnpPqg166NtTPIC5f_kR9zXmNWWmvNGpd9OIG6aiqGy8gohX_MZ5ShTTRA0C3E4-lz2SngikGoT4DSEL8Yyu3sVd_EmTZkS2yXWbYdlHpJBU6zK7lJsRce3cJqA2tp8r7KZyUmotQqtgRWx2QuM5L4s-a0RSNX7C0OpE3FQtCWzNaGkCYRbIWjB7IPVELYtXegK-5ZVwLCg-p6O5C8e9phtlt2859vU5B20ig&aep=10&ntc=1&mstk=AUtExfBiJlZzmaPxuCAO49XHzY6hejVrnvoNn9t-s2ecN3CKJj3NmoJmMVBnOs5tbq3tyjv4z4ibQa4NE6Xf-bKRiCbaa8s9IPCJ0f_BI8xF77kOyvcUgLAo1zGE8cXfrL9-F2qpCr7U3-aMdxkRtL1Vi6Jqq2RC_nTwGnA&csuir=1&aioh=3&mtid=AMZEaqWgDM-z0PEPpXK_6uAg#fild=ChxjMe